



建設にあたっては、周辺の自然環境との調和を考慮しながら、自然石を用いた石積み擁壁や園路に高低差を設けるなどの工夫を施し、工事区域に自生していた約八メートルのエノキの大木を一里塚を思わせるランドマークとして移植している。また、旧道路敷を利用して駐車場、休息施設、展望台などの施設を設けた。

園内には、輪島市が建設したレストハウスで民芸品の販売等を地元の白米町会が行い、千枚田の保存を呼びかけるとともに、清掃などの日常管理も行っている。

「千枚田ポケットパーク」は建設省のみどりの一里塚モデル事業の一環として、二〇〇枚あまりの水田が広がる名勝千枚田を横切っている国道二四九号線の改良事業に併せて整備を行ったロードパークである。

## DATA・BOARD 12



- ①石川県輪島市白米町八部99-4
- ②面積：2,700㎡
- ③駐車場、レストハウス、公衆トイレ、展望台、エノキ大木、周辺地域案内板
- ④自然石ほか

12

せんまいだ  
千枚田ポケットパーク

●くらしに根づく施設